

第2回嘉麻市男女共同参画審議会会議録（要約筆記）

- 1 審議会等の名称 第2回嘉麻市男女共同参画審議会会議録（令和4年度）
- 2 開催時期 令和4年11月8日（火）14時00分～15時30分
- 3 開催場所 碓井住民センター 大ホール
- 4 公開又は非公開の別 公開
- 5 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
- 6 出席者等
 - (1) 出席委員
河野委員、末崎委員、永光委員、益田委員、貴田委員、有吉委員、平塚委員、上野委員、春口委員、阿部委員
 - (2) 欠席委員
辻委員、浦田委員
 - (3) 事務局
梅井課長、内野係長
- 7 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 2人
- 8 議題及び審議の内容
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 議事
 - 1) 審議会意見等の提示及び説明
 - 2) 各課ヒアリング実施課の選定について
 - 3) 所管課ヒアリングに関する質問票の提出について
 - 4) その他

【審議の内容・主な意見】

1) 審議会意見等の提示及び説明

○審議会意見等の提示及び説明について、計画・実施状況調査票に関する質問回答票を事務局より説明。

[意見等]

・男女計画

○「防災担当課への女性職員の積極的配置」について

(会 長) 採用時に職員採用計画の中に、女性の採用をすすめる等の内容が入っているのかお聞きしたいです。

(委 員) かまネットでも昔から要望していましたが、難しい状況との回答しかもらえていませんので、是非実現してほしいと思っています。

(委 員) 災害が起こった時に男性ばかりでなく、すぐに女性が駆け付けてこられるような組織があった方が良いのではないかと感じます。

(会 長) 避難所の中で女性が性被害に遭うこともあり、落ち着けるスペースがない等の問題があるので、そういった視点からも、女性職員の配置について、しっかり発信し、実現してもらいたいと思います。

今すぐに配置・採用してくださいという事ではありませんが、是非検討していただきたいです。

(副会長) 地域の自主防災組織を作る際、大体が町内会単位でできていますが、役員に男性が多く女性の姿がないことが問題。防災担当課の女性職員が、防災時の避難所運営や自主防災組織の立ち上げの際に「組織の半分は女性にして下さい」と、地区の女性に声をかけた方がやりやすいと思います。

今の嘉麻市の職員の状況で、防災課に必ず女性を配置するという事は難し

いことだと思いますが、嘉麻市として防災をどう考えるかという点からも、防災課に女性職員を配置してほしいと思います。

○「市議会における家庭生活との両立支援のための環境整備」について

(委員) 女性議員がないのは、寂しく感じます。意思決定を行う場で女性がいるかないかは大きな問題だと思いますので、女性が政界に出やすいような環境づくりをしていかないと、女性の力だけでは難しい部分があると思います。

(会長) 市議会議員への研修について、コロナで開催できていないとのことですが、オンラインでも研修ができると思うので、そういった導入は考えていないのか等を所管課に聞いてみたいです。

○「政治分野への女性の参画に関する啓発」について

(会長) 政治分野への女性の参画のために研修をするとのことですが、研修の結果が効果を伴うものなのかという面も含めて見ていてもらいたいと思います。

○「高齢者、障がい者、外国人、被差別部落の女性等に対する相談体制の充実」について

(委員) 嘉麻市の高齢者率は40%に近いと聞いていますので、高齢者に対する対応は、市の課題だと思います。その回答について「他課や関係機関とのケース会議等を企画し、情報共有及び支援の方向性を明確にし、支援していくことのできる支援体制構築が必要だと考えています。」とありますが、具体的にどういったことを考えているのか聞いてみたいですし、考えられたことが実現することができるようにしてもらいたいです。

(会長) 連携についての具体的内容について、事業者等の提携する先が増えた、相談件数が増加した等が今後見えてくれば、進捗状況がわかりやすいと思います。

○「嘉麻市男女共同参画推進条例を踏まえた就学前教育の推進」について

(副会長) 回答では、「公立保育所の年長児と職員を対象に」とありますが、8割以上が私立なので、公立保育所が対象だと研修が一部にしか届いていないので、私立にもCAP研修を届けてほしいです。

・DV計画

○「DVに関する研修」について

(委員) 質問回答票で、実施している研修を挙げられていますが、職員は研修を必ず受けなければいけないのか、また受講割合等がわかれば、教えていただきたいです。

2) 各課ヒアリング実施課の選定について

○ヒアリング実施課の選定について、3課程度を予定していることを事務局より説明。
[意見等]

(会長) 前回の審議会で議論のあった託児のことや政治分野の女性の参画のこともありますので、男女共同参画課にお願いしたいと思います。政治分野への女性の参画の研修について、実施した効果がどれくらいあがってくるのか、

また託児の取組については、今後どこにどのようなことを調査してくのか、どのくらいまで調査して分かれば導入に向けて動けるのか等についてのお話を聞けたらと思っています。

(委員) 自治会長や民生委員などは、どのような方法で決まっているのか仕組みがわからないので知りたいと思っています。

女性の割合が少ないのは、役員の決め方とか慣習的にあるルールに問題があるのではと思うので、どうすれば変えられるのかといったところを質問してみたいと思っていますが、どこに聞いたらいいいかわからないので教えてもらいたいです。

(事務局) 行政区長は、行政区内で決定し市に報告することになっていて、所管課としては総務課になります。

民生委員・児童委員は、社会福祉課が所管課になります。委員の決め方につきましては、行政区から推薦のあった方について、市の民生委員推薦会に諮り、国から委嘱を受ける形になります。役員の決め方についてどちらにも聞きたいということであれば、2つの課になります。

(委員) 自分が委員になりたいと思っても、どうやって立候補すればいいかわからず、人任せになり、今までの慣習でいいねと諦めているところもあるのかなと思います。

(委員) 自治会の委員の決め方について、行政が口出しできない部分があると思いますが、広報誌だけでなく、もっと市民の目に届く色々な方法で情報を届けて知っていただくことが、女性に参加してもらううえで大事だと思います。

(委員) 今まで行政からは、行政区の役員の決め方について、地域に住んでいる人が決定することなので、女性の役員をたくさん出してくださいとPRはできても、具体的な中身にまでは手が出せずそれ以上のことはできないという回答をずっと聞いてきたので、行政は、地域の人に届くようなPRのやり方を考えてほしいです。

地域コミュニティがきちんとしてないと女性が委員になること自体が生まれてこないなので、そのためには、行政が地域コミュニティをどう結束させて育成していくか等を総務課から聞きたいと思っています。それに関連して地域コミュニティを作るために大きな題材であった回覧板を回すことがなくなり、郵送されることになりました。自治会に入っていない人にとっては情報が届くようになって良かったという声もある中で、どうやって地域コミュニティを作りあげていくのか重い課題だと思います。

それを作るために行政にしっかり考えてほしいし、住んでいる私たちも考えていかなければいけないと思います。そのきっかけの一つとして、地域の自主防災組織を作る時に、女性たちが声をあげられるような取り組みや働きかけを行政の方にもやっていただきたいです。難しいですが、大きな課題だと思います。

(委員) 行政区は、区長、副区長、会計の役員がありますが、皆さん男性なので、その中で必ず女性を1人入れるとか、そういう取り組みが必要だと思います。商工会も会長・副会長2名いますが、全国的にも男性ばかりです。会長が男性だと、副会長は女性にと強制的に取り組んでいかないと自主的には、なかなか進んでいかないのではないかと思います。

(委員) 民生委員等地域の中で役員をするのは大変なので、自分から手を挙げてやるのではなく、勧められてしょうがなくやっている感じではないかと思

ます。私のところは選挙で選んでいます、女性の立候補者はいません。

- (会長) 地域づくりに関しては、行政が主体になっている部分や、社会福祉協議会のようなところが間に入った住民主体でという部分もありますので、どこまで踏み込んでいけばいいのかというところは、一朝一夕にはいかず非常に難しいとは思いますが、行政としてのスタンスを明らかにしていくことは大事だと思います。

防災関係の職員の配置やDV計画の研修の職員の参加率のこともお聞きしたいので、人事秘書課も対象にさせていただけたらと思います。

ほかに、地域との関係や行政がどうやって地域と向き合っていくのかの姿勢を聞いていく意味では、総務課や社会福祉課等も良いのではないかと思います。

- (委員) 嘉麻市は高齢化が進んでいると同時に女性がとても多く、身近なところで高齢の女性が高齢の女性を介護しとても厳しい状況であるという話を耳にします。そういった問題を今後しっかりやっていく事が市の課題だと思いますので、高齢者介護課に話を伺えたらと思います。

- (副会長) 行政区内の役員の男女比率についての質問で、総務課からの回答は、コロナの関係でできていませんとのことで、以前のヒアリングの時も行政区内のことには口が出せないとの基本があり、弱いというか、行政区のことは行政区の方達に任せて、行政ができることはそんなにないと言われていました。

今嘉麻市は、40%以上の高齢化率で独居の女性がものすごく増えていて、その中で今のままの行政区のコミュニティでいいのかと思っています。

総務課からの地域コミュニティの衰退に対しての具体的な対応についての回答は、「行政区加入促進」のチラシを行政区長連合会と協議のうえ作成し配布することになっています。とのことですが、チラシを配布したことで、今の状況が改善するとは全く思えません。

行政として嘉麻市の地域をどうするのかという覚悟がなく、ただ衰退するのを見ているだけで、役員の調査でさえも2年くらい前から言っているのに、本気でしようとしていないと感じます。

調査してほしいと思っているのは、どれくらいの役員が男性で女性がどれくらいいるのか、数字を見れば一目瞭然だからです。

突然女性が行政区長になるのは難しい話なので、まずは役員に女性を入れて、行政区内にある沢山の課題について女性も参加できるよう努力をしてほしいと言っていますが、総務課にその声が届いていないので、是非総務課に来ていただいて、覚悟を聞かせていただきたいと思っています。

- (委員) 先程から高齢化という言葉が出ていますが、高齢化というと負担ばかりかかき邪魔者扱いのような言い方になっているので、「嘉麻市は年をとっても夢がもてるまち、長寿のまち」と言うように逆の発想で、PRしてほしいかと思っています。高齢者に対してあたたかな尊敬のまなざしで見られるようなまちづくりをすることが必要だと思います。

朝倉の方では、縁結び課という課があるみたいで、そこでは男女の縁結びだけではなく、就職難民の人と企業との縁結びや移り住んできた人に住居の縁結びをするなどしているそうです。嘉麻市もそういった通常の市町村にあるような課名ではない、やわらかい名称の課を設けてほしいです。

- (委員) 飯塚市では人権と子育て、高齢化の問題などを考えていくまちづくり協議会があるのですが、嘉麻市にも、そういったものがあるのなら教えてほし

いです。男女共同参画の視点もしっかり入れて、高齢者問題や教育のことなども含め、嘉麻市のこれからのまちづくりをどう進めていこうと考えているのか、そういったことを考える課があるのなら、話を聞いてみたいと思っています。

(委員) 嘉麻市でまちづくり協議会という名称は聞いたことがありません。社会福祉協議会に嘉麻市が委託したまちづくり協議会というのがありますが、参加者がいません。そのほかにも、勉強会や会議の参加者が少ないです。皆さんのように公募委員として参加されている方はやる気があると思いますが、老人会にしても加入者がいない、民生委員にしてもなり手がいません。

コミュニティづくりと、人材育成が大事だと思います。それにはまず自分が一歩踏み出し色々なものに参加すること。

飯塚市は「人権を尊重するまち」と看板があがっていますが、嘉麻市も「ジェンダー平等のまち」です。今まで、男女平等について、全く知りませんでした。この審議会に参加するようになって、今では、男女平等の件について掲載されている新聞での記事を毎日のようにスクラップしています。

(会長) 男女共同参画の視点だけではなく、いろんな属性に所属する方たちも属性に関係なく参加できる社会そういった視点から協議できればいいのかなと思います。

(事務局) 今、総務課、高齢者介護課、社会福祉課、人事秘書課、男女共同参画推進課の5課を挙げていただいています。漏れた課等はないでしょうか。

(副会長) 男女共同参画推進課は、直接話ができるので、ヒアリングは別の課の内容のことを聞いてみたいと思います。

(事務局) 今、総務課、高齢者介護課、社会福祉課、人事秘書課があがっていますが、質問票があったのは、社会福祉課を除いた3課ですので、総務課、高齢者介護課、人事秘書課でヒアリングを実施させていただきたいと思います。

○ヒアリングは、総務課、高齢者介護課、人事秘書課の3課で実施することで決定。

3) 所管課ヒアリングに関する質問票の提出について

○質問票の提出について、事務局より説明。

[質問事項]

特になし

4) その他

○第4回審議会「評価の視点」と「担当課及び審議会評価」についての見直し案を提示することを事務局より連絡。

令和4年11月28日

会議録確認者 河野 高志